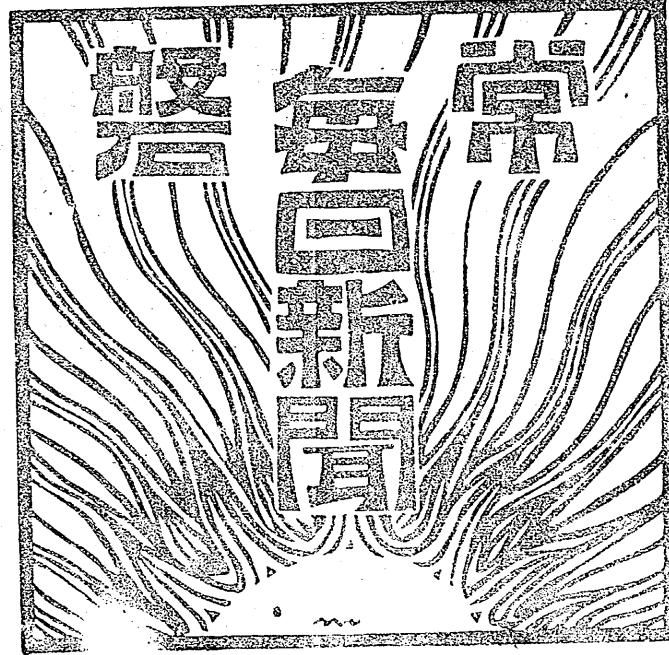


日刊 發行部編輯人 川崎文治 本社下同番地(電話六三〇) 常盤毎日印刷部



二十三月夕刊

定額 一冊金貳圓 一季五圓 半年十圓 一年二十圓 郵費在內
 電話 六三〇番 發行部 電話 六三〇番 印刷部 電話 六三〇番

平町四丁目
 會山時計店
 電話三六三

振動腕時計
 不感ノ
 ズツタイ狂はない

ごんなに
 たつきつても
 ゼツタイ狂はない

腸胃 専門 内科
 十二指 腸虫病
 梅毒 専門 皮膚病
 淋病 婦人病
 平町南
 院病村松

待かねの特製
 生菓子
 イヨク 本日より發
 賣致します
 又た祝折詰物
 大勉強致します
 外に永野特製パン日曜日毎
 に二割引是非御来店を乞ふ
 永野キャンデー
 ーストアー
 平町二丁目 電話七五五番

平名産
 マアードフ
 薬用生ブドウ酒
 を澤山混入して
 製したる
 養養品なり
 佐藤ブド
 酒店
 久保田
 バンヤ

美術袋物カバン類の御用は
 ヨドヤ「堅い品」を求めなれ
 ヨドヤ「堅い品」を求めなれ
 特價品豊富
 当店「飽く迄も「親切第一」を信条とします
 小きくとも「堅い店」を標語とします
 平町三丁目平銀行横

貸家案内
 白銀町 商人向 廿六圓
 仲町 勤人向 十六圓
 柳町 同 八圓
 北白銀町 同 五圓半
 柳町 同 八圓
 加藤營業所
 白銀町(電話三三三番)

外科 専門
 入院應需
 上田外科醫院
 平町南町
 電話一二九番

常盤論壇
 景氣の根柢 (22)
 經濟學博士太田孝氏述
 加藤友三郎氏の内閣の時
 になると自分華盛頓へ軍縮會
 議の爲行つて居る。だから
 其の後始末として自分の
 命として海軍縮小をせよ
 ければならぬと云つて、慥
 か七百萬圓ばかりを整理
 しました。其の以外に役人
 の首斬り其の他合せて六千
 七百萬圓ばかりであつた
 記憶します。併し加藤さん
 が八月二十六日に突如とし
 て亡くなつた。それから數
 日の間次の政府がどうなる
 かと云ふことを騒いで居る

登録商標

 醬味鰹酒 醬油 味噌類
 鹽屋山崎合名會社
 電話 營業部 一〇番
 工場 二七番

平町南町
 看護婦會
 看護婦派出
 の求めに應ず
 電話三〇七番

美味イロキ食堂
 平町紺屋町(縣社通り)
 評判
 オの部電話四六〇番

題であります。兎に角經濟
 學を取扱つて居る私の説と
 致しましては不景氣から初
 まつて景氣、其處へ上つて
 今不景氣の邊にあるか
 と云ふことをお話致さな
 ければならぬのであります。
 此の不景氣は果して底を入
 れたのであるか、底を入れ
 たと致しましたならば、蚯
 蚓が頭を上げる位景氣の頭
 を上げて行くか、蛇が鎌首
 を上げた位景氣が頭を上げ
 て行くか分らぬが、其の經
 濟線をブチ切る、此の經濟
 線と云ふものが如何なる状
 況にあるかと云ふこと、
 皆さん方に簡單にお話申上
 げたいと思ひます。(續)

好評噴々たる
 トリ印人參サフラン葡萄酒
 美味ポルトワイン
 目下特賣中賣切れぬ内是非御試用を
 特約店 山野邊藥局
 平町五丁目角

名特 入價 拭手
 吉田屋 染工場
 福島縣平町五丁目
 (電話五五八番)
 (振替仙台五三二八番)

七五三ノ御祝着
 可愛イ御子様ノ品々
 オールマン
 ラシヤマン
 ヒールマン
 子供ラシヤ洋服
 ウサギノ毛エリマキ
 毛ジバン
 フヂヨレコ
 其ノ他澤山人荷致シマシタ
 各種
 店商ヤルツ
 (〇四・一電)目丁四町平

總工費八萬圓で 子嶽神社の改築

磐城の總鎮守神

近く神廟を社務所に假遷

平町字揚土臺の眺望に鎮座する縣社子嶽神社は、稲倉魂命を祀る式内の古社で、往時は磐城四郡の總鎮守と稱された。今の社殿は嘉永六年五月の改築に係り、境内千五百坪を擁し、蒼蒼たる老松古杉の中に神徳を輝かしてゐる。石城郡内には延喜式神名帳に載せられるもの七社あるも、世々の城主に鎮國宗社と仰がれ、殊に尊崇厚かりしものは、同社でも同町字櫻町の士郎の内に祀られ、今も其まゝに存する。

◇…境内 千五百坪を擁し、蒼蒼たる老松古杉の中に神徳を輝かしてゐる。石城郡内には延喜式神名帳に載せられるもの七社あるも、世々の城主に鎮國宗社と仰がれ、殊に尊崇厚かりしものは、同社でも同町字櫻町の士郎の内に祀られ、今も其まゝに存する。

◇…稲荷の小社が残る。曾て磐城高女校建設の際にも遷移の地より曲玉の類を掘出せるより見ても古蹟たるは疑ひなく、平町一圓の氏子には云ふまでもなく、同地方の崇敬渴仰を益ます高めてゐるが、こん度一般氏子

南裡水道工事竣工

消火栓取付工事も完了

平町水道部が工事中であつた新川町から長橋町に通ずる南裡裏新道路の配水管敷設工事は、愈此程竣工し、之と共に従來其設備もなく同方面町民を不安に陥らしめてゐた消火栓取付工事も完了したので、本日午後から鐵



主婦のメモ

◇柱・廊下の汚れ 廊下の板或は柱が汚なくなつたのを洗ひ落とすには炭の灰と水に入れその上澄を採り

合聯合會の手により、愈々此程完成したが、それによる石城郡内の優良村は、神谷村で同村の一反歩當り、收滿量は廿七貫廿六匁に達し、東方の大關に据わられ、横綱たる大沼郡本郷町が廿貫七匁に比して三貫目強の減收となるか、西方横綱の河沼郡坂下町の廿七貫七匁に比し、僅に八十一匁の減で頗る良好なるものあり、本縣平均の八貫七百廿八匁に比し、素晴しき優越を見せてゐる。

湯本町出身の學生が 母校の寄宿舎で服毒

原因は極度の神經衰弱

石城郡湯本町長清三男、佐分利安雄(九)は、茨城縣立工業學校應用科三年生にて、水戸市外吉田村の加藤酒造店に下宿してゐたが、昨今試験期に入つた處から、神經衰弱に陥り、悶々の日を送り、遂に去月二十八日午前八時頃、同市上市三光町の同校寄宿舎で劇藥カルモチンを多量に嚥下して自殺を圖つたので、同級生が之れを發見して直に

共同販賣 順調に進行

既報石城郡農會が養兔家救濟の目的にて、斡旋中なる共同販賣は、頗る農村の好評を博し、つゝありて順調に事業を遂行してゐるが、第一次實行日割としては、左の通りで、大山技師以下極力共任に當つてゐる。

△三日下小川△四日平窪
△五日好間△六日内郷△
七日磐崎△八日小名濱△
九日泉△十日上遠野

菩提樹會披露

石城郡夏井村の免如來寺の住職にて菩提樹の會長たる鈴木積善師は、既記の如く、此程新婦を迎ひ、華燭の典を擧げたので、會員に新婦田村かね女の披露を兼ね、四月午前十時から同寺に於て菩提樹の會例會を開く事となつた。

マルカ對二葉

マルカ對二葉チームは、四月午後一時より、警中校庭に於て野球試合を爲すが、其のメンバー左記の如し。

葉岡出毛木崎野野川藤
二吉井市鈴木草吉市遠
投捕(一)三遊(右)中左
藤原川妻田藤田賀川
伊大佐新矢加町志早

平町人事

▲出生
△鎌田町三九 箱崎孝一氏三女ミチ子
▲死亡
△三日一六 鈴木ヤス(七五)

いまの物語

(二)

阿部政右衛門
石川友二郎
松本 徳一
高野 卯之吉
川崎 文治

くが飛ぶさうです。高野、夫れは本當です。だから工場の中は實に清潔なものです。テカ／＼光つて居ます。ヨ

高野、夫れは本當です。だから工場の中は實に清潔なものです。テカ／＼光つて居ます。ヨ

石川、イヤ今度二丁目に出来た永野キャンデースト

の爲めに喜ぶべきだと思つて居ます。松本、パンは何處のがうまいんです。石川、アチコチで大分造る様になりまして、未だ本當のものを出來ぬ様です。だから私は東京の木村屋へ五圓宛先に拂へ込んで置いて、無くなつた時分に取り寄せる様に居ます。云へ、香りと云へ舌ざはり、と云へ、實に何んとも云へぬ味を持つて居ます。(つゞく)

極めて優良

平町青年訓練生の本年度査閲は、執行官福間少佐により、三日午前九時から商業學校

歸郷の途に

十日頃到着

本州縦断の壯舉を完成し、下關市で休養中の榊田彦之進氏は、出迎への産馬組合聯合會古村技手と夫を一日歸郷の途についたが、愛馬吉番號は同日貨車に乗せ、平驛まで直送し、榊田氏は歸途警備して、くれた主なる都市を訪問して來る十日頃到着の豫定である。

潜伏中捕る

三春署の手配

平警察署では三春署からの手配にて、携帶犯の搜索中なりしが、二日某所に潜伏中を、取押へ其向き三春署へ打電した爲め、同署から三日身柄を引取に來たが、其犯人は、栃木縣那須郡金田村大字奥澤機械工小田桐重二郎事酒井二郎(三)と稱し、三春町居住中露店商人として、知人から品物を借受け、生計を營んでゐたものであるが、夫れを騙取逃走した外、他に犯罪があるらしいと言ふので、三春署では相當重大視してゐる。

平町青年訓練生の本年度査閲は、執行官福間少佐により、三日午前九時から商業學校